

E:医療福祉従事者のスキルアップ

「介護の基本」からさらにステップアップした内容です。経験のある方やさらに知識を得たい方向けのテーマです。

NO	テーマ	講師	定員・月日
E1	介護現場でのアセスメントと個別援助(支援)計画 ケアプランに沿ってサービス提供を行うために、自立支援の考え方を踏まえたアセスメントが必要です。それを基に様々なニーズに合わせた個別性・多様性のある援助計画につなげることが求められます。ADLの自立度だけでなく、生活観や社会との関係性も含めたアセスメントと援助計画を考えます。	仙台大学 体育学部 健康福祉学科 准教授 介護福祉士 後藤 満枝 氏	定員:50名 令和6年 10月29日(火) 13時~16時
E2	介護者に必要な医療的ケアの知識 胃ろう、経管栄養、吸引、酸素療法、人工呼吸器、膀胱留置カテーテル(フォーレ)など、医療的ケアが必要な方が増えています。現場で出会う医療的ケアがどのようなものかを知り、介護を行う際の配慮点などを学びます。	公益社団法人宮城県看護協会 青葉訪問看護ステーション 所長 看護師 前田 香苗 氏	定員:50名 令和6年 9月12日(木) 13時~16時
E3	介護度の高い方の力を引き出すレクリエーション レクリエーションの目的として、身体機能の維持や向上、脳の活性化、コミュニケーションの促進が挙げられます。個々のニーズを基に、身体状況、障害特性などを踏まえた目標設定から評価までの一連のプロセスのポイント、リスク管理について学びます。	仙台大学 体育学部 健康福祉学科教授・ キャリアセンター長 高崎 義輝 氏	定員:50名 令和6年 9月20日(金) 13時~16時

介護講座 日程一覧

月日	テーマ	No	月日	テーマ	No
5/30 (木)	介助の基本(起居動作・移乗・車椅子の使い方)	B1	10/11 (金)	入浴の介助	B3
6/6 (木)	日常の健康管理	A4	10/18 (金)	虐待防止・権利擁護	D2
6/12 (水)	介護保険の制度	A1	10/29 (火)	介護現場でのアセスメントと個別援助(支援)計画	E1
6/19 (水)	フレイル予防の栄養学と食形態の工夫	C3	11/6 (水)	自立に向けた排せつ支援と用具の選定	B4
6/26 (水)	障害福祉の制度	A2	11/14 (木)	皮膚の管理と褥瘡予防	A3
7/2 (火)	認知症の医学知識	C1	11/26 (火)	口腔ケアの必要性とポイント	B5
7/29 (月)	支援記録の目的とポイント	D3	12/6 (金)	拘縮予防の必要性とポジショニング	B2
9/12 (木)	介護者に必要な医療的ケアの知識	E2	調整中	加齢に伴う運動機能の低下・変化	C2
9/20 (金)	介護度の高い方の力を引き出すレクリエーション	E3	調整中	発達障害の理解と成人期の支援	C4
			調整中	知っておきたい薬の知識	D1

- ※ 申込は各月毎、概ね2ヶ月前にホームページに掲載いたします。
Google フォームまたは、「介護講座申込書」をダウンロードし FAX にてお申し込みください。
- ※ 先着順になりますので、お早めにお申し込みください。
定員を超える申込みの際には、申込みを締め切らせていただきます。
- ※ 日程や開催時間等が変更になる場合がありますので、ホームページにてご確認ください。

宮城県介護研修センター

〒981-3625 黒川郡大和町吉田字上童子沢 21

(障害者支援施設 宮城県船形の郷 管理棟内)

TEL:022-341-1102 FAX:022-341-1130

ホームページ:<https://fukushi.miyagi-sfk.net/kkc/>

開館時間:午前9時00分~午後5時00分 休館日:土日祝日・年末年始

宮城県介護研修センター 令和6年度

介護講座のご案内

宮城県介護研修センターでは県民の方や医療福祉従事者の方々を対象に、介護講座を開催しています。

介護・福祉には有資格者から介護未経験の方まで様々な方が携われています。また、介護知識・技術は高齢者ケアだけでなく、障害児者の方にもケアとして共通する部分が多くあります。介護講座は、基本的な介護の知識・技術の学習を通して、県民から医療福祉従事者までより多くの方に「介護を知る機会」を提供すること、「介護の基本的な知識・技術」に触れていただくことを目的にテーマを昨年度より再編しました。

経験が少なく実践での不安をお持ちの方の知識・技術の積み上げや、事業所内で行いきれない人材育成、新人教育の機会としてもぜひご活用ください。

今年度は、船形の郷(大和町)へ移転し新天地での開催となります。

皆様のご参加をお待ちしております。

介護講座テーマ(全19回)

A:介護の基礎

講義を通して医療・福祉に関する基礎的な知識を学び、理解を深めます。

No	テーマ	講師	定員・月日
A1	介護保険の制度 制度全体の概要を理解しておくことは介護の基礎知識のひとつであり、地域とのつながりや多職種協働の土台となります。介護保険制度全体の仕組みや最近の動向、またケアプランの目的・役割などを学びます。	有限会社 福寿 ご長寿くらぶ小牛田・ 福寿の家きたうら 管理者 理学療法士 尾形 文克 氏	定員:50名 令和6年 6月12日(水) 13時~14時 30分
A2	障害福祉の制度 障害福祉サービスも制度全体の概要を理解することは基本的な知識として必要です。また、利用手続きなど介護保険と異なる部分もあります。制度の位置づけや個別支援計画の果たす役割、相談支援の基本的な価値観などを含めて学びます。	一般社団法人宮城・仙台障害者相談支援従事者協会 代表理事 主任相談支援専門員 福地 慎治 氏	定員:50名 令和6年 6月26日(水) 13時~15時
A3	皮膚の管理と褥瘡予防 皮膚のトラブルは褥瘡だけではありません。加齢による乾燥や伸縮性の低下が生じるため、裂傷や皮膚炎のリスクも高まります。スキンケアの重要性を知り、褥瘡予防の実践について学びます。	公益社団法人宮城県看護協会 栗原訪問看護ステーション 看護係長 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 大内 淑子 氏	定員:50名 令和6年 11月14日(木) 13時30分~16時
A4	日常の健康管理 毎日のケアの中で「いつもと違う」という「気づき」はとても重要です。日々のアセスメントや入浴・食事などの生活での観察ポイント、バイタルサインの意味、主な疾患ごとの配慮点などをお伝えします。	看護師 小関 ゆみ 氏	定員:50名 令和6年 6月6日(木) 13時~16時

B:介護の技術

食事・入浴・排泄・乗り移り等の基本的な介護方法について、実技を交えながら学びます。

No	テーマ	講師	定員・月日
B1	介助の基本(起居動作・移乗・車椅子の使い方) 寝返り、起き上がり、立ち上がりなどの基本動作の介助方法について学びます。 また、車椅子の基本的な介助のポイント、機器も活用した移乗方法をご紹介します。ご本人の動きに合わせた介助のポイントや、介助者自身の負担を軽減するような方法を知り実践につなげましょう。	宮城県介護研修センター 理学療法士 廣島 志保 作業療法士 大場 薫 宮城県船形の郷 作業療法士 今野 佐也圭 氏 理学療法士 千葉 暁子 氏	定員:20名 令和6年 5月30日(木) 13時~16時
B2	拘縮予防の必要性和ポジション 拘縮が起こると行為や姿勢が制限を受けるだけでなく、関節が動かないことで骨折や褥瘡のリスクも高まります。拘縮には重力が大きく影響しています。臥位だけでなく、座位での姿勢で重力の影響も考えながら適切なポジションについて学びます。	東北福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科 講師 作業療法士 浮田 徳樹 氏	定員:30名 令和6年 12月6日(金) 13時~16時
B3	入浴の介助 入浴は体の清潔を保つだけでなく、心理的にリラックスできる時間ともなります。また全身状態を把握する機会ともなりますが、肌の露出や滑りやすいなどのリスクもあります。訪問入浴や浴室での入浴介助の際のアセスメント、ケアのポイントや流れを学びます。	アサヒサンクリーン株式会社 東北支店 訪問入浴・通所介護 安全管理部 教育指導課長 遠藤 清美 氏	定員:30名 令和6年 10月11日(金) 13時~15時
B4	自立に向けた排せつ支援と用具の選定 排泄ケアは動作の介助、おむつ交換だけではありません。尿意・便意の評価だけではなく、量や頻度(パターン)のアセスメント方法を学びながら、個々に合わせた負担の少ないケアの実践に触れてみませんか。	株式会社クララケア・サポート 代表取締役 館 亜美 氏	定員:30名 令和6年 11月6日(水) 13時~16時
B5	口腔ケアの必要性和ポイント 食べる前の準備運動も含めた適切な口腔ケアは、食生活の改善だけでなく、誤嚥性肺炎の予防にも非常に重要です。嚥下運動と口腔等の機能を知り、実際の口腔ケアの方法を学びましょう。	みちのく歯科診療所 院長 川村 洋 氏	定員:30名 令和6年 11月26日(火) 13時~16時

C:障害の理解

障害者や高齢者に関係する疾患や障害の特徴などの理解を深め、その支援について学びます。

No	テーマ	講師	定員・月日
C1	認知症の医学知識 認知症の早期診断と治療によって、生活機能の維持・BPSDのコントロール・介護負担の軽減が可能になることから、正しい医学知識と、よく服用されている薬の効用と副作用についても学びます。	医療法人朋心会 旭山病院 理事長 医師 近藤 等 氏	定員:50名 令和6年 7月2日(火) 10時~11時30分

No	テーマ	講師	定員・月日
C2	加齢に伴う運動機能の低下・変化 加齢に伴って運動機能が低下することはよく知られています。「知的障害者は一般の高齢者に比べて機能低下が早い」との指摘もあります。加齢に伴う運動機能低下を知り、それがどのように生活のしづらさに影響するのか、実際に疑似体験を行い感じてみましょう。	東北文化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科 理学療法士 山田 祥康 氏	定員:30名 令和6年 7月9日(火) 13時~16時
C3	フレイル予防の栄養学と食形態の工夫 高齢者の低栄養がフレイル(虚弱な状態)や筋肉量の低下につながり、要介護の原因になることが注目されています。高齢者に適した栄養のバランスや、咀嚼・嚥下機能が低下したときの食事が食べやすくなるような調理の工夫などについて学びます。	東北生活文化大学 家政学部 家政学科 講師 管理栄養士 高橋 文 氏	定員:50名 令和6年 6月19日(水) 13時~16時
C4	発達障害の理解と成人期の支援 周囲から見えづらく、分かりづらい自閉症スペクトラムなどの発達障害について、障害特性を理解するとともに、精神障害などの併存について学びます。今回は、成人期の支援をメインに、社会的障壁を減らす工夫について、具体的事例を基に一緒に考えてみませんか。	調整中	定員:50名で 開催を予定し ております。 ホームページで ご案内します。

D:介護現場で必要な知識

安全に介護を行うための対策・対応について学びます。

NO	テーマ	講師	定員・月日
D1	知っておきたい薬の知識 服薬支援は毎日複数回行わなければいけません。個別性が高くミスも起きやすい支援です。薬の基礎知識(種類・保管方法・副作用・飲み合わせ等)を知り、介護現場でよく使われる薬について学びます。 また安全に取り扱うための理解も深めましょう。	調整中	定員:50名で 開催を予定し ております。 ホームページで ご案内します。
D2	虐待防止・権利擁護 令和4年度から障害福祉事業所で「虐待防止委員会」の設置が義務化されました。また令和6年度から「高齢者虐待防止の推進」も義務化となります。 高齢者・障害者に対する虐待防止のための取り組みや虐待行為の種類、具体的行為などを学びます。また身体拘束への理解を深めます。	一般社団法人宮城県社会福祉士会 宮城県障害者権利擁護センター 宮城県障害者差別相談センター 所長 鈴木 みゆき 氏	定員:50名 令和6年 10月18日(金) 13時~16時
D3	支援記録の目的とポイント 介護現場の支援記録は単なる記録だけではなく、適切に作成することでスタッフ同士の情報共有や、日々の変化に気づききっかけになり、支援方法を分析する材料となるなど、様々な目的があります。記録目的を知り、表現も含めてどのようなことを記載するのかを学びます。	特別養護老人ホーム やもと赤井の里 施設長 土井 孝博 氏	定員:50名 令和6年 7月29日(月) 13時~16時